

②活動の流れ（2年生）

うごく うごく わたしのおもちゃ【2学期 内容(6)】

単元名 うごく うごく わたしのおもちゃ

単元の目標（ _____：知識・技能、 _____：思考・判断・表現、 _____：学びに向かう人間性等）

身近にあるものを使って、おもちゃをつくる活動を通して、よりよく楽しめるように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

○小単元の授業の展開構想【生活科2年 うごく うごく わたしのおもちゃ(全10時間)】

目指す子供たちを実現するための具体的な取り組み【手立て】

- ①教室内につくる場・遊んだり試したりする場・改良する場を設定し、1時間の中で児童が自分で活動が決められるようにする。
- ②同じおもちゃ同士でグループを作り、同じおもちゃで比べやすいようにする。グループ内で行き詰まった時は、教師から全体に呼びかけてチームの垣根を越えて深められるようにする。
- ③なぜ改良したいのか、どうしてそのおもちゃをつくろうと思ったのかなど、方法ではなく理由を、作成時や試している時に問いかけることで、普段の生活から改良の視点を見つけることができるようにする。

子どもの意識 <input type="checkbox"/> 学習のストーリー (○) 気付き <input type="checkbox"/> ねらい◎ 評価★ 教科横断	備考
<p>うごくおもちゃをもっとレベルアップしたい！（本時）</p> <p>○おもちゃがどうなれば面白くなるか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと楽しいおもちゃにしたい！ <p>T：どうなれば楽しいおもちゃになると思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと高く飛ぶおもちゃ！ ・もっと速く走るおもちゃ！ <p>でも、もっと速くしたり、もっと高く飛んだりさせるためにはどうしたら良いのかな。</p> <p>○それぞれの場を活用して、試したり、改良したりする。</p> <p>C1：どうすれば走るの？</p> <p>T：この羽根にはどんな役割があるの？</p> <p>C2：これはね、風がここに当たるんだよ。</p> <p>T：じゃあ、羽根が必要ということだね！</p> <p>レベルアップするにはいろいろな方法があることがわかった！ もっと工夫できることがあるかもしれない。 隣のクラスや上級生（3年生）にもきいてみたらもっと変えられるのかな。</p>	

